

ようぼくの心と心をつなぐ

News Letter

心一つに合わせる大切さを子供たちに伝え、おつとめやひのきしんを通して、教会にとつてなくてはならないようぼくにお育ていただく鼓笛活動。「いまの私があるのは、この鼓笛活動があったから。お育ていただいたご恩返しを胸に、取り組ませてもらっている」と話すのは、指導責任者として鼓笛活動に携わる光武大和さん(須光分教会後継者、写真〓中央)。そんな大和さんのまわりには、同じ思いを胸に鼓笛隊員の子供たちと真剣



▲練習の合間の時間を利用した、スタッフミーティングの様子。音楽だけでなく、信仰についてのねりあいも行われている。

次代を担う若者が育つ場所 縦の伝道を担う鼓笛活動

に向き合う学生スタッフが多く存在する。

毎春、おちばでは「鼓笛指導者研修会」が開催されている。その名の通り、鼓笛指導者としてのスキルアップを目指す講習会なのだが、今回、岡団からは6人の学生が参加した。「研修会」終了直後、こんな一場面を目にした。「研修会」を修了した学生が、「少年会岡団総会」のスタッフとして大教会でひのきしんしていた大和さんを見つけるなり、駆けてきて研修会で学んだことを口々に報告していたのだ。その表情はイキイキとしていて、口をついて出てくる言葉も明るい。中には、「大和先生に声を掛けてもらったから、研修会を受講した」という学生もいる。

大和さんは、「鼓笛活動には、立派なようぼくへお育ていただける肥やしがたくさんある。いま、主力となっている学生スタッフは皆、この鼓笛でお育ていただいたメンバーばかり」と。そして、「彼らは鼓笛活動だけにとどまらず、青年会や女子青年(婦人会)、学生会活動でも活躍している。」と、次代を担う若年層育成の実感を、鼓笛活動を通して感じている。

「親の背を見て子は育つ」という言葉があるように、次代を担う若者は、先を行く、先輩の姿を見ているのかもしれない。そして、確実に育っている。

本部員・宮森与一郎先生を迎え

「おつとめ勉強会」お手直し

基本の手を、基本通りに、大きく振る

3月24日、本部員・宮森与一郎先生を招いての「おつとめ勉強会」が開催され、おつとめ奉仕人らが参加した（写真）。



この「おつとめ勉強会」は毎年、春と秋に開催され、これまで、教会長夫妻の教理研鑽の場として、「みかぐらうたに込められた親心」と題して、宮森先生による講義が進められ、合わせて「お手直し」が行われてきた。また、昨

年の「大教会創立120周年記念祭」に向けては、「原点に戻り、おてふりの手を基本から学び直すこと」を目的につとめられ、「素直な心で勤める」、「一手一つの心で勤める」、「喜びの心、勇んだ心で勤める」との3つのポイントを学んだ。

一手一つのおつとめが勤められた「創立記念祭」を終え、次なる一里塚への歩みを進み始めた今年、「教祖140年祭、大教会創立130周年へ向けて、あらためて一からおてふりを学ばせて頂こう」と、



▲一つひとつの手振りを、自ら丁寧に振ってお教えくださる宮森先生。

の癖を直す努力の必要性や、人に合わせることの大切さを教えて下さった。集中した勉強会の時間は瞬間に過ぎ、参加者からは『お手直し』と言われると、どうしても構えてしまいがちだが、和やかな中にも真剣にご指導くださる先生の雰囲気にも包まれ、自ら求める気持ちで練習させていただけました。とても充実した時間だった」との声が聞かれた。

宮森先生の「お手直し」を継続することとなった。

当日は、大教会神殿参拝場を会場に、午前9時から正午までの午前の部と、午後1時から4時までの午後の部を実施。合計6時間、「座りづとめ」と「よろづよ八首」から順に、各下りの手振りを熱心に研鑽した。

お手直しでは、宮森先生より「基本の手を、基本通りに、きちんと、大きく振ること」を終始一貫してお仕込みいただき、参加者が理解しやすいように自ら手を振って見せてくださる。また、場を和ませるユーモアあふれる説明を交えながら、丁寧に指導くださり、一人ひとりの

教祖の御前で夫婦のお誓い

春爛漫の桜のもと大教会で婚礼



教祖の御前で、夫婦として二人が心を合わせて陽気ぐらしの家庭を築き、ようばくとして成人していくことをお誓いする結婚式。4月8日、岡萩分教会長の森本喜治さんと恵美子さんの結婚式と披露宴が、大教会で行われました。大教会で婚礼が行われるのは、実に26年ぶりのことです。



▲▼岡萩分教会につながる「未来のようばく。たちは、西野カナの「トリゼツ」を替え歌で元気よく披露。たくさんの方々から祝福を受けた喜治会長と恵美子さんは、幸せいっぱい表情。



喜治さん・恵美子さんおめでとうございます

午前10時、少し緊張の面持ちを見せる新郎新婦が、主礼を務めた大教会長に続いて教祖の御前に参進。新郎新婦に代わって読み上げられる誓詞（誓いの言葉）を胸に治め、夫婦心をそろえて歩みを進めることを教祖にお誓いしました。

続いて、参拝者全員でおつとめ。その後参拝場で記念写真を撮影し、会場を会館ホールに移して披露宴が開かれました。

披露宴は、終始和やかな雰囲気。岡萩分教会につながる「未来のようばく」や、新婦・恵美子さんの親類や友人家族などによる余興もあり、賑やかな一日となりました。

▶教祖の御前へ参進し、夫婦お誓いの言葉を述べる「誓詞」を奏上する大教会長。

『みちの子、が一堂に会し 一手一つに賑やかに』 少年会岡団「総会」を開催



少年会岡団(蓮池弘之団長)の「総会」が3月31日に大教会で開催され、少年会員152人、育成会員189人の合計341人が参加した。

総会当日は、神殿前での記念撮影後、開会。大教会長の祭文奏上に続いて、今春から婦人会員、青年会員となる中学校修了者10人が、少年会卒業の御礼の参拝をした。

8交代でつとめられる、一手一つに賑やかなおつとめまなび。『みかぐらうた』を唱和し、この日に向けて懸命に練習を重ねてきた成果を、親神様・教祖にご覧頂く。子供たちの姿を参拝場から見守る育成会員の心配をよそに、子供たちは元気よく、てをどり、鳴物などの役割を一生懸命に勤めた。

前日の30日には、「練成会」として育成行事を実施。中でもメインの「ツアーズ」では、「おてふり練習」、「総合練習」、「鳴物練習」、「リズム練習」、「おはなし」に教室を分けて、仕込み行事を実施。おつとめ練習のほか、教



理に添ったおはなしや、ゲームなどを通して親神様のご守護と御教えを学び、交流を深めた。

また夜のお楽しみイベント「オカリンピック」では、趣向を凝らした競技に、子供たちは一喜一憂。チーム対抗戦で得点を競い、上位チームには素晴らしい景品も。「こどもおちばがえり」の「三つの約束」を感じつつ、交流を深めた。

▲一生懸命、おつとめを勤める少年会員たち。この日に向けて、各教会では「おつとめ練習日」を設け、総会に向けて取り組んできた。

女子青年大会後の新たな歩み

一手一つに神名流し

女子青年例会

子木の音も心地よく響き、参加者全員、心晴れ晴れと勇んでつとめさせていただきました。

夕づとめ参拝後は、場所を移して食事会。今回、これまで

4月22日午後5時より、女子青年7人、担当者3人の計10人で例会を開催。明日香村内を神名流しに歩かせていただきました(写真)。

声高らかに、「よろづよ八首」を唱和。春の気配を感じながら、素晴らしい飛鳥の風景に拍



で委員長を務めてくれた森川佳代子さん(西北)から新委員長の吉田あゆみさん(東松浦)にバトンタッチし、新委員も含めた慰労と新体制スタートの親睦会となりました。

翌23日は、朝づとめ参拝後、祭典準備ひのきしん。そして、月次祭に参拝し、最後の片付けまでひのきしんをつとめさせていただきました。今後、女子青年の例会では、全員で神名流しに歩かせていただきます。

女子青年の活動は、「やがて母親となる女子青年が、親神様の教えを身につけ、人をたすける心を培い、女性としての役割や徳分を学び、ご恩報じのできるようばくに育つこと」を目標としています。みんなで楽しみながら、ひのきしんや教理勉強に取り組み、会活動を進めていこうと考えています。

どうぞ皆さん、女子青年のさまざまな行事、ひのきしん、例会にご参加ください。岡につながる女子青年の輪を、一緒に広めていきましょう。

【文／婦人会岡支部女子青年担当者】

◆◆◆今後の例会予定◆◆◆

女子青年(吉田あゆみ委員長)の「例会」は、大教会を会場に開催させていただきます。内容は、神名流しや月次祭準備など。たくさんの方のご参加をお待ちしています。

場 所／岡大教会

時 間／13時集合

■7月22日(土)、23日(日)

■9月22日(金)～24日(日)

■12月22日(金)、23日(土)

※詳しくは「岡女子青年部」まで

◆◆◆KOGGひのきしん◆◆◆

毎夏恒例の「こどもおぢばがえり」。模擬店やふれあい広場、宿泊、輸送など、多くのひのきしん者で運営されていますが、女子青年はふれあい広場の「チケット販売」と「アイスクリーム販売」を担当しています。各地から帰ってくる子供たちの笑顔のために、皆さん、どうぞご参加ください。とても楽しいですよ♪

第24回南相馬生活復興支援ひのきしん隊報告



(4月1日牛越仮設住宅)

今回ほど出勤を迷った事はない。放射能汚染による帰還困難区域が次々と解除される中、3月末で応急仮設住宅も一応の終了を迎えるこの時期に……。これまで受け入れに協力くださった自治会長さん方も多くが生活再建を目指して自宅へ戻られる。行政の支援は打ち切られても、残らざるを得ない人も多いとは言え、夜に灯のともる部屋は疎らで閑散となった仮設住宅。

そうした心模様を雨が迎えてくれた。急いでテントを広げる。結果は分からないが精一杯やるしかない、そう思って準備開始。ところが、雨にも拘わらず大勢の人たちが会場を訪れてくださった。しかも、自室に持ち帰る人は僅かで、集会場内で歓談しながら出来立ての焼きそばとたこ焼きに「美味しい！」の一声。年を召された方が多いが、和らいだ笑顔も多い。テント内に設置した射的とスマートボール、綿菓子のコーナーでも立ち寄る人が屈託のない笑顔を覗かせる。子供だけではなく昔を懐かしみながらの人たちも。

教会長子弟錬成会参加の中学生16名は、仮設内の各家を案内に回ったが、会場まで来れない方には注文を取って配って回った。その門口では、遠方から支援に来た若い訪問者に優しい笑顔で応対下さったり、お菓子や飲み物を下さる方も。中には一緒に写真を撮るといふ光景もあって、心の交流が多く見られた事が実に嬉しい。



▲人気のゲームコーナーには、子供たちだけでなく、昔を懐かしむ大人の姿も見られ、笑い声が響いていた。

い。
前日に引越した佐藤昭元自治会長さんも顔を出してくださり、お別れの挨拶で、天理教関係者のこれまでの支援活動に対する謝意と共に、「近くにある自宅には農地もあるが汚染でもう農業も出来ない。放射能汚染は家族もバラバラにし、すべてを奪っていく」と言葉が胸に食い込む。しかしそれでも前を向いて歩いて行こうとする人たちに、参加者の一人ひとりが心からのエールを送った。

翌2日は快晴の中、子弟錬成会参加者は東京

へ移動して行事を続け、本隊は開通したばかりの圏央道経由で、埼玉チームを送った後、おぢばへと帰路に着いた。今回も秋田チーム3名が賄い方を、本導分教会の大畑会長さんが採れ立てのブロッコリー外配布物多数を持参下さって、大いに応援して頂いた。

やっぱりやらせてもらって本当に良かった。これが全参加者44名の気持ちである。そして、岡大教会としての支援活動も一つの区切りを迎え、新たな段階に進む時を感じた。



▲▶戸別に訪問し、炊き出しとゲームコーナー開催を案内する中学生。訪れてくださった方と、肩たたきをしながら会話を交わす光景も。

▲◀南相馬での実動を終えた子弟練成会参加の中学生は、東京へ移動して練成行事。移動中の車内から原発事故の影響を受けた街並みを見学し、日本大震災発生以降の様子を動画で学んだ。また、宿舎のホテルでは「スコロクトーキング」を利用し、「天理教」や「信仰」についてねりあった。



新任教会長紹介

岡谷分教会八代会長

森井 正次



れました。そこには、一人ひとりが教会へと心をつなぎ、互いに手を取り合った一手一つの姿がありました。

このたび、大教会長様よりご命を受け、教会長とい

ご本部東筋のアタミザクラが満開に近い3月26日、ご存命の教祖より岡谷分教会8代会長の理のお許しを頂戴いたしました。

前会長が出直されて5年。その間、無担任であった教会は、前会長の奥さんを中心に岡谷につながる皆さん、そして教会のご近所の方々の支えを受けて、今日までの歩みを進めてこ

う尊い御用を頂きました。右も左もわからない若輩者ではございますが、岡谷につながる皆さまと共に、精いっぱい伏せ込ませていただきます。そして、大教会長様をはじめ諸先生方にお育ていただきながら、夫婦心をそろえて道の御用の上に励ませていただきます。どうぞ、よろしくお願いいたします。

婦人会「伏せ込みひのきしん」元

R179年12月22～23日

担当係より

柔らかな日差しの中、気持ちよくひのきしんをさせて頂きました。伏せ込みひのきしん以外の方も多く、賑やかにつとめさせて頂き、ありがとうございました。



担当係／井上ひろみ（筑八）

参加者／森川誠子（西北）、森川莉央（西北）、大谷千満子（江北野）、徳吉富士子（芦住）
半田元子（肥東）、七浦九三子（南肥里）、安藤信裕（南肥里）
安藤由理何（南肥里）、吉原徳光（今光）、芝田栄作（道明弘）

順不同

「春の学生おぢばがえり」 「道の学生」としての歩み方を再確認

岡学生担当委員会



「私たちには、教祖の教えという揺るぎない心の基準がある」「自分の心を見つめ直して思召に照らし合わせ、もし思召に対してずれていることがあれば、勇気をもってそれを改め、真つすぐ前を向いて明るく進んでいけばいい」「若いうちにさまざまなことを学び、また現れてくる事柄から心を治める練習を重ね、将来、立派な道の人に育つてくれることを心から願う」。

道の学生で埋め尽くされた中庭に、響き渡る真柱様のお言葉。その一言々に真剣に耳を傾け、しっかりとうなづく岡につながる学生たち。そのお言葉を胸に、さらなる歩みを進める決意を新たにしました。

3月28日に本部中庭で開催された、「春の学生おぢばがえり」。式典後、各大教会ごとに行われる「直属アワー」では、詰所旧遙拝場を会場に、まずはウォーミングアップでリラクセス。続いて、大教会長からのお話を聞かせていただき、真柱様のお言葉を振り返りながら「道の学生」としての歩み方を再確認した。

昼食は、恒例のバーベキュー。その後、婦人

◀前夜祭での模擬店出店は、久しぶりのこと。この日のために、学生らで準備を進めてきた。



会、青年会、学生会よりのPRタイムがもたれ、各活動を紹介した。

また、式典前日の27日には、東西泉水プール前の広場を会場に「前夜祭」が開催され、岡学生会は模擬店を出店。大阪名物の「いか焼き」をふるまった。

4月「おぢば伏せ込み団参」



毎月恒例のおぢば伏せ込み団参。今回は、第3御用場北側の除草作業を実施しました。行事が立て合う中でしたが、55名の方がご参加くださいました。ありがとうございました。

学生、本部勤務の皆さんもふるってご参加ください！



青年会岡分会(上田耕平委員長)では9月24日(日)、青年会長様をお迎えして「決起総会」を開催いたします。声を掛け合い、ご参加ください。



春の消毒剤散布

今月のベストショット

春の陽気に誘われるように、新芽が芽吹くとともに植木には虫たちが現れ出します。最も多く発生するのは5月と9月。木々を守るため、毎年、春と秋に消毒剤を散布してくださるのは、相嘉分教会・相菖布教所長の山本豊さんと好英さんご夫妻。ただ消毒するだけではなく、「自然に優しく」と、ちょうどいい薬剤を調合してくださいます。



おやさとふしん青年会ひのきしん隊



毎月、1日から24日までおぢばに伏せ込む「おやさとふしん青年会ひのきしん隊」。親里の景色に、淡く美しい彩を添える花が咲き誇る春四月、青年会岡分会（上田耕平委員長）は青年会員9人で入隊した。

ちばに伏せ込む一カ月 青年会岡分会



▶隊中には、県内各所へをいがけにも出る。写真は、奈良市内で路傍講演。

この時期のひのきしんは、3月末に開催された「春の学生おぢばがえり」で使用された旗や舞台などの撤収や、教祖誕生祭の各種準備など、4月ならではの内容が多い。そのほか、営繕部の各倉庫での整理作業も行われるが、今回は4月29日に実施される「全教一斉ひのきしんデー」で使用される道具の準備にも携わった。

上田委員長は、「24日間という時間をお供えし、おぢばに伏せ込ませていただくひのきしん隊。ここでしか味わえない経験も多く、教会系統を越えた出会いは、道の御用を務めさせていただく上でも大きな糧となっている。ぜひ、皆さんにも参加してもらいたい」と呼び掛ける。

「海外拠点設立」に向けて 募金活動を実施

オーストラリア布教隊

教祖130年祭の心定めの一つに「海外拠点設立」を掲げ、現在も継続して海外布教活動を展開している青年会岡分会。これまでの実動の中で、現地ではよく一人をご守護いただき、この6月にはオーストラリアから2人がおぢば帰りを予定。また、7月9日に真柱様ご夫妻、大亮様をお迎えして勤められる「オセアニア出張所開設20周年記念祭」にも、数人をお連れして共に参拝させていただく予定となっている。

そんな海外布教活動は、多くの方々の真実で成り立っている。4月19日には、教祖誕生祭と婦人会総会に帰参された方々を対象に、「海外布教隊活動募金」を実施。詰所ロビーでモーニングコーヒールを用意し、4万4千887円の支援が寄せられた。

Monthly Information

4日 岡心勇隊佐賀地区
 5日 東松浦おつとめまなび総会
 7日 おぢば伏せ込み団参(午前中)
 8日 岡心勇隊奈良中和地区
 9日 岡心勇隊五條橋本(あやの台)
 13日 婦人会委員会 岡心勇隊八幡地区
 14日 岡谷分教会会長就任奉告祭
 15日 大教会伏せ込みひのきしん(道弘)
 18日 岡心勇隊大阪地区
 20~21日 鼓笛隊練習日
 21日 大教会ひのきしん(相嘉)
 22日 役員会議 大教会史編纂作業部会
 祭典準備ひのきしん
 大教会ひのきしん(表野・飛鳥川)
 22~23日 婦人会伏せ込みひのきしん
 23日 大教会月次祭
 少年会縦の伝道講習会
 23~26日 婦人会詰所ひのきしん
 役員・直属教会長連絡会議
 24日 布教部会 婦人会例会・連絡会
 少年会委員会
 大教会ひのきしん(東松浦)
 おぢば伏せ込み団参(早朝)
 詰所運営委員会 学生担当委員会
 青年会委員会
 詰所清掃ひのきしん

26日 本部月次祭 祭典後お礼つとめ
 任命お運び(杵島)
 27~28日 新任教会長の集い
 29日 岡心勇隊博多地区
 30日 岡心勇隊姪浜会場
 ◆本部辞令
 ・少年会隊長変更(3月26日付)
 表野隊 蓮池 理々香
 表田隊 上田 蒼翔
 呉服町隊 本村 静香
 岡瀧隊 常道 さら
 道弘隊 宇田川 平
 ◆大教会人事(3月23日付)
 ・女子青年部
 委員長 東松浦 吉田 あゆみ
 副委員長 西北 森川 千鶴
 道弘 高野 楓
 岡村 奥村 あきえ
 須光 光武 真由子
 南阿太 芝田 奈津美
 委員 勇虎 坂本 笑子
 表野 椎葉 里歩
 瀧登 常道 ほたる
 南阿太 芝田 沙姫
 眞澄 森 花菜美
 飛鳥川 出口 歩美

◆任命講習会受講者(4月10~14日)

大博 野田 初音

◆教養掛(5月)

松浦郷 中島 道弘

◆第69回教会長資格検定講習会修了者

(3月27日~4月19日)
武生水 塚元 道陽

◆別席願(3月16日~4月15日詰所受付分)

大空 内嶋 恵理
眞澄 森 花菜美
眞澄 松本 孝輔

◆おさづけの理拝戴願

(3月16日~4月15日詰所受付分)
警固 澤田 昌子

◆事情お運び(3月26日付)

岡谷分教会(直轄)

◆任命・恒例祭日変更願

所在地 奈良県高市郡明日香村祝戸38
会長名 森井 正次

祭典日 毎月19日(4月に限り13日)
奉告祭 立教180年5月14日

表田分教会(表野)

◆神殿増改築及内部改造並附属建物増築願

所在地 奈良県五條市阪合新田町883

着工予定日 立教180年4月15日

竣工予定日 立教180年10月31日